

くらしの窓すぎなみ

編集・発行：杉並区立消費者センター
杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並3階
tel.03-3398-3141

2021.5 NO. 322
令和3年5月1日発行

子どもを事故から守りましょう！




5月5日はこどもの日です。

「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する日」となっています。
(国民の祝日に関する法律より)

子どもは成長とともに運動機能が発達し、いろいろなことができるようになる一方、事故にあう危険も増えていきます。周囲の大人たちが、子どもの身の周りに注意を払うことで事故は防げます。毎日の安心・安全な生活のために、あらかじめ情報を得て、子どもの事故を防ぐ対策を立てておきましょう。

消費者庁では、主に0歳から小学校入学前の子どもの事故を防ぐための注意点や豆知識をメールで配信しています。メール配信登録をしてお子様の事故を予防しましょう。

 子ども安全メール from 消費者庁

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_001/



起こりやすい事故 → 次ページ

起こりやすい事故

子どもを事故から守る！！事故防止ハンドブック(消費者庁)

0歳から小学校入学前までの子どもに起こりやすい事故と、その予防法、そして事故が起きてしまったときの対処法のポイントがまとめられています。英語版、中国語版も作成されています。

(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_002/)



窒息・誤飲

事故例：うつぶせ寝で顔がやわらかい寝具に埋もれる
ベッドと壁の隙間などに挟まれる

対策：敷布団やマットレスは硬めのものを使用しましょう。1歳になるまではおおむね向けて寝かせましょう。大人用ベッドではなく、できるだけベビーベッドに寝かせましょう。



事故例：食事中に食べ物で窒息
ボタン電池や洗剤などの誤飲

対策：食品は小さく切り、食べやすい大きさにしてから与えましょう。硬い豆、ナッツ類は5歳以下の子どもに食べさせないようにしましょう。誤飲しやすいものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。



やけどに注意

事故例：ファンヒーターの送風部の近くにいるやけど
(子どもは大人より皮膚が薄い
ため、短時間の接触でも深い
やけどになります)

対策：暖房器具を安全柵で囲むなど、普段から子どもを近づけないようにしましょう。



水まわり

事故例：洗濯機、バケツや洗面器などによる事故
(バケツや洗濯機にたまったわずか10cmの深さの水でも溺れるおそれがあります)

対策：使用後の洗濯機からは水を抜いておきましょう。水の量が少なくてもバケツや洗面器の近くに子どもをひとりにはないように注意しましょう。

転落・転倒

事故例：抱っこひもに子どもを入れたまま作業をしていて前かがみになった際に、子どもが転落

対策：抱っこひもの使用時に物を拾うなど、前かがみになる時は、必ず子どもを手で支えましょう。おんぶや抱っこをする時、子どもを降ろす時は低い姿勢で行いましょう。



記事に使用したイラストは「子どもを事故から守る！！事故防止ハンドブック」から抜粋したものです

子どもの事故防止カレンダー

消費者庁では、子どもが起こしやすい事故をカレンダーにして注意を呼びかけています。こちらをダウンロードしてご活用ください。

(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/assets/consumer_safety_cms204_210401_01.pdf)



参考：消費者庁ホームページ

プラスチックごみを測って削減してみよう

買い物をすると食品や生活用品のパッケージに、荷物が届くと緩衝材に…。プラスチックは生活の中で様々に使われ、私たちはごみとして捨てています。そこで、1週間ごとにプラごみを計測しながら、改めてプラごみについて考えてみました。

1週目のミッション

買い物や生活で出た1週間分のプラごみを、集めて捨てる時のごみ袋に入れた状態を写真で撮り、重さを測ってみました。



K家 2人家族

●重さ 600g
プラごみを集めるごみ袋に、いつものように無造作に入れた。1週間で45ℓの袋がほぼ一杯になった。



T家 4人家族

●重さ 780g
容量30ℓのごみ袋にいつも通り無造作に入れた。袋2つそれぞれ満杯で、460gと320gだった。

2週目のミッション

2週間目は、いつもよりもごみが小さくなるように、ごみ袋への入れ方やまとめ方を変えてみました。



●重さ 700g
今週はごみの重さは先週より100g増えたが、トレイを重ねて入れたので、45ℓの袋の見たい目は3分の2程度に減った。



●重さ 640g
30ℓのごみ袋2つ(510gと130g)になるべく重ねて入れた。ただ大きさや形がバラバラなので、きちんと入れることは難しかった。袋の数は減らせると思った。

3週目のミッション

3週間目は、買い物の時にプラごみが少なくなるような買い方を意識してみました。



●重さ 400g
買い物の時にお菓子は小分け袋入りを避け、肉や魚はビニール袋入りを購入。大きなプラごみの中に小さなプラごみを入れ、隙間なく詰めた。45ℓの袋の見たい目は先週とあまり変わらないが、重さが格段に減った。



●重さ 760g
2週目と同様に重ねられるものは重ね、買い物ではプラごみがなるべく出ないような包装を選んだ。買ってしまったトレイは、スーパーの回収箱を利用してみた。ごみの量は30ℓの1袋に納まった。

1回目に比べ、2回目、3回目は見たい目のごみの量が小さくなり、特に3回目は買い方の工夫が効いたのか、重量が大幅に減った。

毎回2袋出していたのが、3週目には1袋に納まった。ただ、3週目に頑丈な1.3ℓ入の洗口液の空ボトルなどを出したためか、2回目より重さは増えた。

使い捨てプラスチックを減らす3つのポイント

① 出かける時はマイバッグを持って

② 飲み物はマイボトルで

③ お箸、スプーン、フォークも持参

プラスチックごみとして出している物を意識してみると、材質、形、大きさ、厚さ、重さなど多種多様なものがあること、量が多いことに改めて気づきました。プラスチック製の包装容器はあらゆる物に使われており、商品と一緒に買っています。食品から雑貨、薄い包装袋からボトルまで、出たごみをまとめるのは意外に難しいのですが、重ねたり細かくしたりごみ袋への詰め方を変えることで、袋の数や容量を減らせることがわかりました。

また、使う食材や生活用品の消費時期などが重複することもあるので、3週間だけではわかりづらいのですが、買い物の時にプラごみが出ないものを選ぶようにすることで、ごみが減ることを実感しました。

(消費生活サポーター)

ご利用ください

くらしのお助けガイド2021

杉並区立消費者センターでは、消費生活にかかわる情報をまとめた「くらしのお助けガイド」を毎年3月に発行しています。児童館、ゆうゆう館、地域区民センター、図書館ほかの施設で配布しています。(部数には限りがあります。)

杉並区ホームページの消費者センターサブサイトでもご覧になれます。安心・安全なくらしのためにお役立てください。

主な記事

クーリング・オフの書き方
クレジットカードや身分証を失くした時
家具などの不用品を処分する時

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/shohisha/siryoy/1064820/index.html>



消費者講座開催 知っ得! 水トラブルの基礎知識

突然の水漏れや排水の詰まりに、落ち着いて対処する方法を専門家から学びます。

日時 令和3年5月20日(木曜日) 午後2時~4時

場所 ウェルファーム杉並3階 第1・2教室

定員 30名(申込順) 申込受付開始 5月6日(木) 午前8時30分~
電話で消費者センター(03-3398-3141)へ

講師 東京都管工事工業協同組合 組合員



こんな相談がありました!!

「大手通販サイトから未納料金を請求するメールがきた!?!」

相談事例

パソコンに、「サイトへの登録料が未納である。本日中に連絡がない場合は法的手段に移行する。」という内容のメールが届いた。送信元として大手通販サイト名が記載されていたが、このサイトを利用したことはない。どうしたらよいか。



消費者へのアドバイス

- 実在する事業者名等の名前をかたり、「有料サイトの料金が未納」などの心当たりのないメールが届いたという相談が寄せられています。
- 心当たりのない不審なメールが届いたら、開かずにすぐ削除することが大切です。
- 送信元の名前などに聞き覚えがあっても安易に信用しないようにしましょう。連絡すると個人情報を聞き出されたり、金銭を要求されたりする場合があります。
- 困ったときは、消費者センターに連絡してください。

商品の購入、契約などについてトラブルが起きたとき、迷ったときなどお気軽にご相談下さい!

杉並区立 消費者センター

相談専用 03-3398-3121

相談受付時間 午前9時~午後4時(土曜・日曜・祝日・12/29~1/3は休み)

杉並区立消費者センター

検索